

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回日向市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和8年2月25日（水） 9時55分～10時40分まで
開催場所	市役所 2階入札室
出席者	安藤公一委員（会長）、北村委員、大野委員（副会長）、古賀委員、宗安委員、黒木一彦委員、鈴木委員 業務委託業者（一財）日本環境衛生センター 2名 事務局 7名
議題	第3向日向市ごみ処理基本計画の策定及び答申書案について
会議資料の名称及び内容	第3向日向市ごみ処理基本計画（案）、答申書案
記録方法	<input type="checkbox"/> 本文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会（市民環境部長あいさつ）</p> <p>■会長あいさつ</p> <p>■議事</p> <p>規則により安藤会長が議事進行を行う。</p> <p>事務局から、（1）日向市ごみ処理基本計画案のパブリックコメントの結果報告、（2）策定案の意見と対応について一括して説明し、終了後に委員からの意見等を求めた。</p> <p>○発言者名：委員1</p> <p>本計画案は、細かいところまで改善されて、全体的に分かりやすくなった。特に、市民が目指す数値を総量ではなく、1人1日当たりの量として明確にしたのが評価できる。今後、この数値を市民の皆さんに対して周知していただきたい。</p> <p>○発言者名：委員2</p> <p>軽微な点であるが、24ページ 図2-15のグラフで、0%の薄い線を実線にした方が見やすい。</p> <p>《事務局》</p> <p>グラフについては、ご指摘のとおりで修正する。</p> <p>○発言者名：委員3</p> <p>パブリックコメントで意見がなかったという報告であるが、市民の関心は高いはずで、「意見がない」というのは実態にそぐわないのではないか。今後のパブリックコメントでは、募集方法など工夫が必要だと思う。</p>	

《事務局》

○発言者名：委員 4

計画の進捗管理について、見直しが 5 年後となっているが、毎年の進捗管理についてお伺いしたい。進捗管理は 5 年後ではなく、毎年の積み重ねで実行に移していくべきだと考える。

《事務局》

- ・年度ごとの結果を公表すべきと考えており、確約できないが、進捗管理の結果をホームページ等で公開することも検討する。また、今後も審議会を開催してご意見を頂戴したい。
- ・法に基づき毎年、実施計画を策定している。実施計画の中でどこまで盛り込むかは今後の検討であるが、目標値達成状況等の記載について検討する。また、本市の課題として「発信力」があげられ、今後できるだけ多くの方々にみていただけるよう検討したい。

○発言者名：委員 5

パブリックコメントが全くなかったとのことで、PR の方法について今後検討する必要がある。市内には商工会議所女性会など、いろいろな団体がある。そういう団体にも働きかければ反応が返ってくるのではないかな。

《事務局》

○発言者名：委員 6

本計画は、いかに多くの市民に見ていただき、関心を持っていただくかが重要である。概要版を作り、市民に目標などが分かる形で示すと良いと思うが、概要版を作成する予定はあるか。

《事務局》

概要版は作成する予定である。できるだけわかりやすい形で作成するようにしたい。

○発言者名：委員 1

1 人 1 日当たりのごみ量について、多くの人が数値だけ言われてもピンとこないと思う。イベントのときに、現状と目標の量を、実際のごみ量で見せるなど、体験できる仕掛けがあると良い。

《事務局》

市民イベントなどで PR できるよう検討する。

○発言者名：委員 7

- ・資料はよくできている。これを切り分けて、繰り返して、わかりやすい形で発信していくことが必要である。
- ・「厨芥類」という言葉は、用語集でも記載されており勉強になるが、わかりやすさで言えば「厨芥類」を「生ごみ」に変えてもよいのではないかな、とも思った。

《事務局》

○発言者名：委員 5

- ・以前、エコクッキングに参加したことがあり、その際に残飯の少なさなどを実感できた。イベントの場でエコクッキングの実演があると、どれだけ残飯が減るのか市民に周知しやすい。イベントではそのような内容をご検討いただきたい。
- ・また、皮まで食べる場合などでは農薬について懸念される。牡蠣殻の粉末などで洗浄すると農薬除去などの効果もあり、そういった取り組みも併せて紹介できる。

《事務局》

- ・食品ロス削減など企業の取組も進んでいる。ごみ組成調査でも生ごみ比率が高く、水切り等の取組も含め、イベント等での可視化を検討したい。その際にはお知恵をお借りしたい。
- ・健康増進、地産地消などについては、農林水産など、様々な部署と連携を深めて、「参加したい」、「参加してよかった」と思えるイベントを広めたい。

(3) 答申内容について、事務局が答申書案を読み上げ、委員からの意見を求めた。  
特に委員の異議もなく、案のとおり承諾を得る。

今後のスケジュールについて、事務局から答申書手交式（3月中旬）、計画策定の公表（3月下旬）について、また資料編の追加項目について説明する。

■その他 特になし

■閉会